

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-16 観光施設整備事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					390	観光施設整備事業	
主管課	観光課		関連課	各部各課		392	観光施設整備事業	
分野名	観光							
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳) ・観光客数は暦年				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
	観光客数	18,833,713人	19,344,470人					
運営資源 状況	決算値	46,526千円	103,657千円					
	(国・県)	4,828千円	20,000千円		指標と評価			
	(負担金等)				指標	公衆トイレの大規模改修済み箇所数		
	(一般財源)	41,698千円	83,657千円		評価	○		
	人員配置数	1.45人	1.45人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	14,160千円	14,103千円			目標値	実績値	
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	60,686千円	117,760千円		20年度	2カ所	2カ所	
	市民1人当りの経費	344円	667円		21年度	2カ所	1カ所	
	対象者1人当りの経費	3.2円	6.1円		22年度	2カ所		
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉		
	観光客数	54,280,941	13,864,129	19,649,000	50,210,000	18,833,713	23年度	2カ所
	宿泊数	4,907,486	362,761	4,525,157	13,061,000	324,769	最終年度 (25年度)	合計9カ所
	宿泊率	9.0%	2.6%	23.0%	26.0%	1.7%		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 公衆トイレの補完的取組みである協力店を充実させる方法の検討が必要。 トイレについては順次計画的に建て替えを進めているが、老朽化したトイレに対する苦情がある。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・前年の指摘にあったトイレ看板を公衆トイレに設置し、近くの公衆トイレの位置や距離がわかるようにした。 ・老朽化し苦情のあったトイレを業者に依頼し、特別清掃を行った。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・公衆トイレの設置要望の高い小町通り・若宮大路などについて、観光客が利用可能なトイレを増加させることができなかった。 ・トイレの改修が予算の関係で計画通り実施できていない。 ・予定していた天園公衆トイレの改修工事は、関係者との調整や諸手続きに時間を要し、実施することができなかった。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き小町通り・若宮大路などに公衆トイレの補完的取組を検討するとともに、公共施設等のトイレの利用を施設にお願いしていく。 ・トイレの利用頻度や老朽化、要望を考慮し、優先順位をつける。 ・天園公衆トイレについては、既存躯体の利用と電気の整備も検討し、修繕を行っていく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	新規トイレの設置は難しい状況である。公衆トイレの補完的取組を引き続き検討するとともに、トイレが不足する地区の市・県等の公共施設のトイレの地図への掲載等もお願いしていく。			評価結果	改善の必要性	公衆トイレや案内看板などの施設整備は、行政の役割である。これからも観光客から望まれる施設整備を費用の軽減を図りながら実施していきたい。	
A	無				A	無		
課長名		鶴見 俊之			部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦	